

岐阜県におけるオニバスの盛衰近況

磯部 亮一

岐阜県におけるオニバス生育地の現状(1987年)について、会報30号と31号にそれぞれ知見を記述した。しかし、過去に記録のなかった笠松町のオニバスについては、現地を訪ねた時期も遅く、生育個体などの観察が不十分であった。本年(1988年)再び、海津地方および笠松町のオニバス生育地を訪ねてみた。その後の発生状況など、概観したので報告しておきたい。

I. 海津町内のオニバス生育地

前年に海津町内においては、最大のオニバス群生地であった深浜地内貝沼牧草地の堀には、本年(1988)全く発生が見られず、9月15日の観察ではウキクサが水面に密生していた。貝沼牧草地に近い道路ぎわにある用水路(水路底部の幅1m、水深30cm)には、今年もオニバスの発生が見られた。水路内の生育としては比較的良好な生育状態で、最大浮葉径60cm、約20株の生育を確認した。

II. 南濃町戸田水郷のオニバス生育地

津屋川左岸の桜並木のある堤防に沿って7個の遊水池が集中している。前年オニバスはこの内の3カ所の池に生育が見られた。特に上の池、新池には大群生が見られ、多量の種子が生産散布したはずである。そのようなことも考え、オニバスの発生時期である6月21日、当該地を訪ねた。第3～第4浮葉の株(葉径5～7cm)を上池で約5株、新池の岸辺で約30株を確認したが、意外に少ない発生状況と思われた。その後の生育は不良で、9月15日の観察では上の池のオニバスは消滅、新池でもわずか4株の生育確認のみとなった。

III. 笠松町トンボ池のオニバス群落

無動寺地内のトンボ池は、木曾川中流右岸の河川敷にある河跡湖で、トンボの仲間が多く生息することなどから、笠松町が「トンボ天国」と提唱して、5カ所の池沼を含む河川敷一帯を整備し、指定保全している。前年(1987)突然オニバスが発見され、新産地として注目されたところである。



写真1 (左) 海津町深浜用水路のオニバス。1988. 9. 15

写真2 (上) 南濃町戸田新池のオニバス。1988. 9. 15

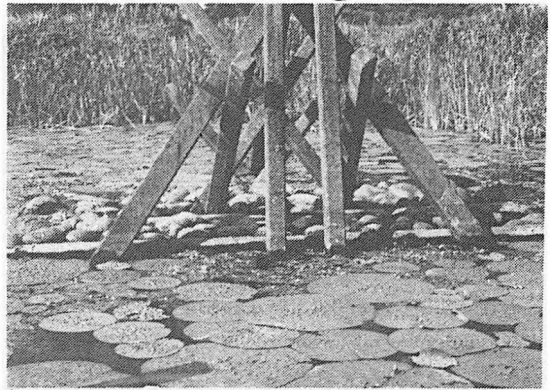


写真3 (左)、4 (右) 笠松町無動寺トンボ池のオニバス群落。1988.9.15

大正時代には木曾川の本流であったと言われるトンボ池は、堤防に並行した幅50m、長さ200mの細長い池で、周囲にはヨシ・ガマ・サンカクイなど抽水植物が繁茂している。池の東側(水深2m以上)にはクロモ・コカナ

ダモ・ホザキノフサモ・キクモなど沈水植物が生育し、オニバスは池の西側半分(水深1m以下)に100株以上の生育が見られ、葉径は1mを越すものもあり、見事なオニバス群落であった。

山口県にもチクゴスズメノヒエ

南 敦

キシウスズメノヒエの山口県での一番最初の記録は、岡国夫ほか編(1972)『山口県植物誌』によれば「下関市松屋 K. Murata 1938.8.18」である。その後山口県では各地に見い出されている。筆者の勤務校がある柳井市でも黒杭ダムに多い。昨年、勤務校の山口県立柳井高等学校の西側水路で水面をはうように広がっているのを見つけた。それらは異様といえるほどよく繁殖していた。証拠標本はキシウスズメノヒエとして山口県立山口博物館や宇部短期大学等に納めていた。昨日1989年2月25日、水草研究会報No.33,34(1988年12月)で「岐阜県にもチクゴスズメノヒエ」の記事を見て、早速前記水路をのぞいて見た。暖冬のため枯れないで残った落葉や今年のびた新葉があった。採集標本は完全ではなかったが、記事の通りチクゴスズメノヒエであった。全体大形で葉身表面に細毛を密生していた。葉鞘の方もよく見れば確かに細毛を密生していた。

○新潟県植物分布図集 第1集～第9集(1980—1988)
 (監修 池上義信 編集 石沢進)
 新潟県植物同好じねんじょ会による新潟県内の植物分

布図集です。各植物について水平分布図(二色刷り)と垂直分布図(第1集以外)が掲載され、基にした標本の採集地、標高、採集者、採集年が詳しく記載されています。約50年前からの標本、50万点以上が活用されています。分布図は各担当者が責任をもって、手作業で打点されており、他の分布図集よりも精度の高いものとなっています。巻末には「分布資料」として、新潟県の植物分布に関する最新知見が載せられており、また特に研究の進んだ種については論文の形でまとめられています。その他にも随所に「雑録」として植物分布に関する話題が挿入されており、本分布図集は新潟県の植物を知るためには必要不可欠です。第1集に50種、それ以後第8集までは各100種、第9集に125種が掲載されており、本年末に出版予定の第10集で計1000種の分布図がまとめられる予定です。先般出版された第9集には、オニバス、ヒシモドキなどの分布図の他、ミズドクサ群落や朝日池の植物など、水生植物に関する記事もいくつか掲載されています。

A4判、約500頁(写真約24頁)、第3、4集 5,500円、第5～9集 6,000円(第1、2集は品切れ)。照会先
 コーエイ印刷株式会社まで。

〒950 新潟市弁天通1-31-30 Ⅲ 025-286-2011
 振替口座 新潟1-5599 (笹川通博)